



2020年8月12日

各 位

会社名 株式会社 チェンジ
 代表者名 代表取締役兼執行役員社長 福留 大士
 (コード番号: 3962 東証第一部)
 問合せ先 取締役兼執行役員CFO 山田 裕
 (TEL. 03-6435-7347)

2020年9月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2020年5月12日に公表した2020年9月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年9月期 通期連結業績予想の修正 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 10,500	百万円 2,619	百万円 2,623	百万円 1,022	円 銭 64.89
今回修正予想(B)	11,000	3,400	3,405	1,421	90.26
増減額(B-A)	500	780	781	399	
増減率%	4.8	29.8	29.8	39.1	
(参考) 前期実績 (2019年9月期)	7,054	1,081	959	378	26.15

2. 業績予想修正の理由

当社グループは、中期経営計画「Digitize & Digitalize Japan」を掲げ、日本のデジタルトランスフォーメーション市場においてリーダーの地位を確立すべく、NEW-IT トランスフォーメーション事業・投資事業・パブリック事業を柱として、「人×技術」で日本の生産性を飛躍的に向上させるビジネスを展開しております。

当社グループの第3四半期連結会計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)において、売上及び利益を積み増しすることができたことが今回の上方修正の主要因です。具体的には次の通り、2つの要因で構成されます。

(1)現時点でパブリック事業の中核事業となっている、ふるさと納税プラットフォーム「ふるさとチョイス」を運営する子会社の株式会社トラストバンクにおいて、コロナ対策のプロジェクトを多数企画・実行した結果、取り扱い寄付額が想定額を上回って好調に推移したこと。

(2)NEW-IT トランスフォーメーション事業において、商材を“With コロナ”時代に最適化したものに変え、投資余力のある法人企業や官公庁をターゲットしたビジネス展開への転換がスピーディに進んだこと。

この2つの要因によって、当第3四半期連結累計期間においては、売上高8,762百万円、営業利益3,286百万円となりました。また、第4四半期連結会計期間内の2020年7月単月の実績を加味した上で、2019年11月14日に公表いたしました中期経営計画の2021年9月期のターゲットである営業利益3,400百万円の達成は確実視されることから、今回の上方修正値にいたしました。ただし、依然として、刻々と情勢が変化する中で、新型コロナウイルスの日本経済及び当社グループ事業へのインパクトを過小評価することがないように、第4四半期連結会計期間内の2020年8月及び2020年9月の業績については、極めて保守的に見積もった暫定的な業績予想としております。今回に引き続き、2020年11月の本決算発表時に業績の更なる上積みができるよう、全力で事業の発展に尽くす所存でございます。

※上記業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上